

# IDDNewsletter.....2

February  
2022



## 特集

### 資格取得のための講師派遣事業

専攻科情報デザイン科では、今年度独自の取組として、北海道教育委員会の「ICTを活用した就労促進事業」の枠組みを利用した「資格取得のための講師派遣事業」を行いました。これは、本校に在籍する学生の進路選択の幅を広げるため、ICTに係る実践的な資格の取得を目的とし、専門科目の授業内で取り組んだものです。

講師をお願いした佐藤整先生に、講師派遣に係ってお考えになっていたことや感じられていたこと等について改めてお話しいただきましたので、今号の紙面にて御紹介いたします。

# 資格取得のための講師派遣事業

専攻科情報デザイン科では、今年度独自の取組として、北海道教育委員会の「ICTを活用した就労促進事業」の枠組みを利用した「資格取得のための講師派遣事業」を行いました。これは、本校に在籍する学生の進路選択の幅を広げるため、ICTに係る実践的な資格の取得を目的とし、専門科目の授業内で取り組んだものです。

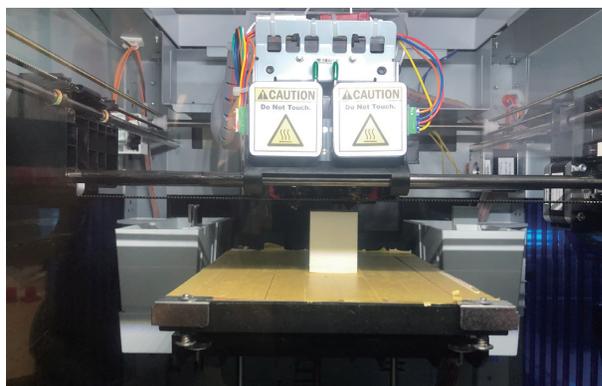
講師をお願いした佐藤整先生に、講師派遣に係ってお考えになっていたことや感じられていたこと等について改めてお話しいただきましたので、今号の紙面にて御紹介いたします。

専攻科情報デザイン科では、今年度独自の取組として、北海道教育委員会の「ICTを活用した就労促進事業」の枠組みを利用した「資格取得のための講師派遣事業」を行いました。この事業は、本校に在籍する学生の進路選択の幅を広げるため、ICTに係る実践的な資格取得を目指し、専門科目の授業において取り組まれたものです。

これまで専攻科情報デザイン科のカリキュラム内で取り上げてきた資格には、「レタリング技能検定」や「フォトマスター検定」（どちらも国際文化カレッジ主催）「色彩士検定」（色彩士検定協会主催）等のグラフィック系の内容の検定試験、Illustrator クリエイター能力認定試験や Photoshop クリエイター能力認定試験（どちらもサーティファイ主催）等のアプリケーション操作系の検定試験、ビジネス著作権検定や Word 検定（どちらもサーティファイ主催）等のビジネス系の検定試験があります。

本事業においては、「Web クリエイター能力認定試験」を取り上げ、エキスパート級（他の検定試験では1級として扱われる最上位級）の取得を目指すこととしました。

この「Web クリエイター能力認定試験」では、HTML5とCSS3を使ったモダンテクニックによるコーディングについて、資格取得を目指す学びの過程において、系統的に学ぶことができます。現在でも、Web コーディングを取り上げた授業において、「テーブルレイアウト」<sup>[1]</sup>等を実践的な技法として扱っている学校も未だにあると聞きます。これは、データ記述におけるセマンティクスという理念にも反しますし、何より、現在では、Web制作関係の現場において全く使われないテクニックとなっています。



Web制作の現場の技術の遷移は非常に速いです。実務においては、その速さについていく力や新しい情報を探し出す力、得た情報を活用する力、といったこと等が求められることとなります。そこで、今回の事業では、以前本校専攻科情報デザイン科でHTMLによるコーディングやグラフィックデザイン等についての教鞭をとられていた、本校元教諭の佐藤整様に講師をお願いし、1週間に2時間、それを約6ヶ月続けて授業を担当いただきました。

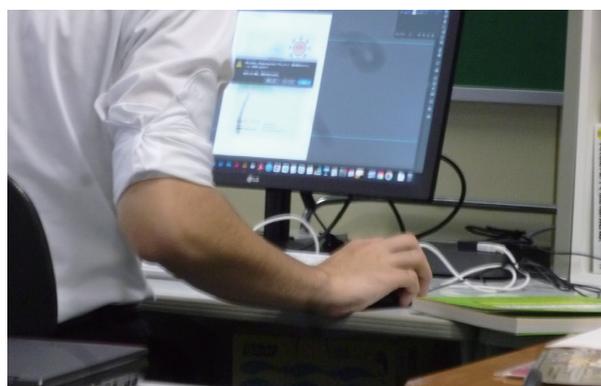
現在、佐藤様はフリーのクリエイターをされており、Web関係の制作の実績も多くお持ちです。その専門的で実践的な知識や技術を存分に学生達に伝えていただけるようお願いし、事業がスタートしました。

6か月というそれなりに長い道のりとなりましたが、試験の結果は、受験者2名中2名合格、つまり全員合格となりました。見事ミッション達成です！

決して簡単な内容の試験ではないだけに、学生も講師の佐藤先生も喜びはひとしおだったのではないかと思います。

講師をお願いしたその佐藤先生に、講師派遣の依頼に係り、お考えになっていたことや感じられていたこと等についてお話しいただきました。そのテキストの内容について御紹介いたします。

注 HTMLの要素の一つであるtableタグを使用した位置合わせの技法である。本来、表作成という要素の定義であるものをスタイルに使用するという面で、現在のコーディングにおける「構造とスタイルの分離」という観点からは、非常に問題のある行為となっている。



(以下佐藤先生のコメント)

ICT就労促進事業の一環として、昨年6月から12月まで、週2時間の授業の講師を担当させていただきました。

授業の目標は、「Webクリエイター能力認定試験」というWebサイト制作のための知識・技能を図る検定の合格を目指すものでした。

かつて在籍しておりました職場でしたので、それなりに経験だけはあったわけですが、現場を離れて3年強経過していることもありますし、何より週1回の授業のみでどうやったら学習をより深められるだろうかといったあたりに課題を感じていました。

ですが、在籍しておりましたときと比べ、ICT活用環境がより充実しており、課題を解決する上で大いに助けになりました。

具体的な一例として、教材の配布や課題の提出・採点等をWeb上のラーニングシステムを利用して行いました。

システム上にアップしたデータを生徒が各自のiPadにダウンロードすることで即時に教材の配布が行えますし、課題の提出・採点はシステム上でリモートで行える等、スムーズに学習を進めることができました。

こういったシステムを活用する際には、活用すること自体が目的化してしまって自己満足に陥っていないかを常に自戒することが大事と思うのですが、幸い、今回の目標である検定には受験者全員が合格できたということで、一定の効果を上げることができたのではないかと考えています。

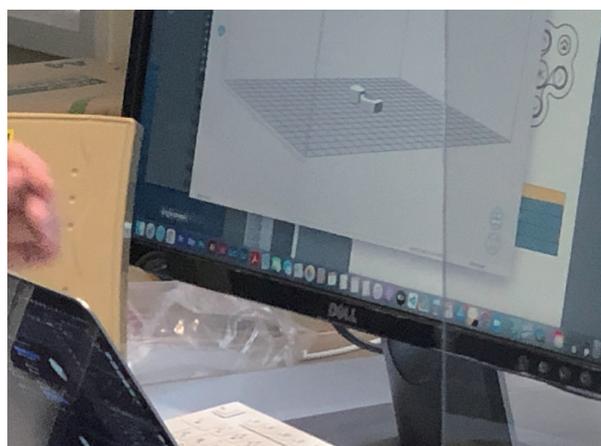
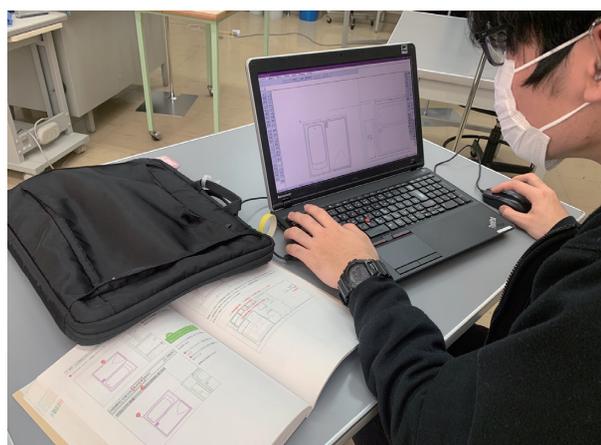
とはいえ、生徒自身の学ぶ姿勢や、これまでの学習の積み重ねによるところが大きいことは言うまでもないでしょう。

聞くところによりますと、このラーニングシステムは、道立学校全体で導入されているわけではなく、学校独自に管理・維持されているとのことでした。

先生方の創意工夫とご努力には全く頭が下がる思いです。

今回このような機会をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

生徒の皆さんとまたどこかでお目にかかれる機会を楽しみにしております。



IDDN

# Contents

## 特集

### 2-3 資格取得のための講師派遣事業

専攻科情報デザイン科では、今年度独自の取組として、北海道教育委員会の「ICTを活用した就労促進事業」の枠組みを利用した「資格取得のための講師派遣事業」を行いました。これは、本校に在籍する学生の進路選択の幅を広げるため、ICTに係る実践的な資格の取得を目的とし、専門科目の授業内で取り組んだものです。  
講師をお願いした佐藤先生に、講師派遣に係ってお考えになっていたことや感じられていたこと等について改めてお話しいただきましたので、今号の紙面にて御紹介いたします。



Welcome to Information Design Department!!

## 令和4年度の 入学生を募集しています！

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科では、令和4年度入学生を募集しています。1次募集は終了いたしました。現在2次募集について受け付けています。聴覚障害のある方で、高等学校や特別支援学校高等部を卒業等していれば、入学できます。それ以外の年齢制限や条件はありません。道外の方でも入学できます。昼食は給食となっております(注1)、希望があれば、寄宿舎に入ることもできます(注2)。

※入学条件の詳細は、下記アドレス専攻科情報デザイン科Webページ内の「入学者募集」をご覧ください。

### 専攻科情報デザイン科 Web ページ

[http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=228](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=228)

### 入学者募集について

[http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=223](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=223)

### 入学に関するお問い合わせ

ファックス：0134-62-2663

電子メール：koutourou-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話：0134-62-2624

## 専攻科情報デザイン科の特徴

- ・高等学校に設置される「専攻科」と同様の枠組みです。(いわゆる「準ずる教育」の教育課程です)
- ・授業料が全くかからず、材料費等も非常に低コスト(注3)で、対費用効果の高い学びができます。また、通学等に関する費用は「就学奨励費」の対象(注4)となっており、支援制度等も充実しています。
- ・DTPやWebに係わる「最新の」「スタンダード」な内容を重視します。(例えば、Webであれば、HTML5とCSS3を使い、セマンティックなコーディング、というように。もちろんテーブルレイアウトやcenterタグは使いません！)
- ・デザイン等に専門的な学習だけではなく、特別支援学校における「自立活動」(注5)で扱うべき内容、例えば日本語教育や聴者社会の社会生活に係わる内容等を、総合的に、到達度がはっきり理解できるように学びます。
- ・学生これまでの学びの環境や積み重ね(「普通校」出身者か「聾学校」出身者か、失聴時期、日本語のリテラシー、学力等)に合わせた教育方法を準備します。
- ・筑波技術大学と協調した授業等も行っています。
- ・修了後について、本人、保護者の希望をお聞きすると同時に、ロールモデルとなる聴覚障がい教職員のアドバイスをを受けたり、聴者社会とろう者社会、ろう者と難聴者との違い(注6)などについて客観的に学びながら、単に「好きなこと」から「(社会にとって、自分にとって)やる価値のあること」「自分の技量でできること」「社会に貢献できること」といった観点から主体的に進路選択できるようにしていきます。

ファックス：0134-62-2663

電子メール：koutourou-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話：0134-62-2624

※入試前まで教育相談等に対応できます。

一人一人に合った指導方法を準備するために、できるだけ入試前に教育相談にお越しになることをおすすめいたします。

注1：1食330円(昼食)で、就学奨励費の対象となっています。注2：学年末・学年始休業日、夏季・冬季休業日は閉舎します。注3：現在、学校で材料費等は徴収していません。授業毎に使用する材料等は、すべて学生自身で準備し、学校に持参していただきます。注4：特別支援学校に在籍する生徒・学生への補助制度で、帰省や通学にかかる交通費、給食費等が対象となり、所得状況に応じて額は変わります。注5：普通校には通常ない領域で、障がいそのものの改善に焦点を当てます。具体的には、弊校の場合、聞こえや社会生活、コミュニケーションに係わる内容となり、学校の教育活動全般をとおして行われます。注6：医療や教育分野では聴力を基準に考えることが多いですが、聴覚障がい者の実際の社会での有り様においては、日本手話を母語とする「ろう者」と聞こえづらいくれども日本語を母語とする「難聴者・中途失聴者」で分けられます。

## 情報デザイン科学科だより

Information Design Department

# IDDNewsletter

February 2022 2

IDDNewsletter

February 2022

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒041-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

[www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp)

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記Webページより電子メールでご連絡ください。